



## キャバレー・カード・デビネーション＜透視・予知＞

ビリー・マッコム&ケン・ド・クールシー著

### ＜日本語解説書＞

ジョージア州マンチェスターのスコッティ・マクレガーからの手紙がきっかけで、我々はこの話題を議論し始めた。彼はかつてビジネスマンの昼食会で話題をさらった手品を記していた。

我々は試行し、その可能性を認め、いつものように議論を重ね、やがてキャバレー向けの「大掛かりな」演出へと発展させた。

ちなみにスコッティは「自身の考案ではない」と強く主張したが、原典は思い出せなかった。そこで我々も同じように扱うが、文字通り周囲に囲まれた状態でも演じられるよう技法を変更した。

## 現象：

マジシャンはケースからカードを取り出し、観客にシャッフルとカットを依頼する。同時に封筒を別の観客に渡し、保管を依頼する。

シャッフルされたデッキは別の観客に渡され、隣席の人の手に 7 枚配るよう指示する。  
マジシャンは残りのカードを取り戻し、観客に「**お持ちの 7 枚のカードを表向きに扇状に広げて見てください**」と指示する。

ステージ中央からマジシャンが「**お客様、おそらくスペードのクイーンをご覧になっていると思います。もし正しければ、他のカードから取り出し、頭上に掲げて皆様に見せて、隣の紳士にお渡しください**」と告げる。

観客はスペードのクイーンを手に行っていることを確認し、掲げて見せてから隣人に渡す。

この手順をさらに 5 枚のカードで繰り返すと、観客の手には 1 枚だけが残る。  
封筒の所持者に向き直り、マジシャンは封筒を開け、中のカードに書かれたメッセージを声に出して読むよう依頼する。

彼は「**最後に見るカードはクラブの 2 です**」と読み上げる。そして、もちろんその通りである。

手法の詳細に入る前に、以下の点を考慮してください。

必要なのは

普通のトランプ 1 組、封筒、そして「予言」カードだけです。

技術は一切使わず、周囲に囲まれた状態でも実行可能です。

観客 4 人を巻き込みながら、誰も席を立つ必要がありません。総じて、フロアショーに最適な演出であり、ピリーはクルーズ船での仕事でこれを披露しています。

「必要なもの」は前々段落で既に説明したので、早速…準備に入りましょう。

## 準備：

——以下省略——

操作方法：ケースからデッキを取り出し、観客の最前列中央付近に座る人物 A に渡す。その人物がカードをシャッフルする間、近くに立ち、次に隣の席の人物 B にカットを依頼し完了させる。

すぐに左腕を左側に座っている観客 C の方へ伸ばし、封筒を受け取ってポケットに入れるよう依頼する。彼がそうした後、最初にシャッフルした観客 A の男性にデッキを手渡し、隣に座っている観客 D の手の上に裏向きで 7 枚のカードを配るよう依頼する。彼がこれを終えたら、残りのデッキを受け取り、自分のポケットに落とします。

—以下省略—

## プレゼンテーション(ビリー・マッコム作)

この手口は、むしろ真剣な態度で演じるべきだと気づいた。巧妙な詐欺師のように、相手を騙すようなやり方で売り込む必要があるのだ。いくつかの細かい工夫で、実際より見栄えを良くできる。たとえ見破られても、あなたが騙したのではないかという疑念が、所々で孤立した人物に生じる程度だ。彼らが集まって情報を共有しない限り…それはまずありえない…この手口がバレずに済む確率は極めて高い。

まず、新品の未開封のカードのデッキを使う。ベストのポケットには封筒を入れ、その中には最終的な予言として、書かれた文章ではなく「裏面が異なる一枚の特定カード」を収めている。クルーズ船では運航会社のカードパックがあります。これらは裏面が異なる色のペアで提供されることが多い。

ここでは青裏のデッキを使用し、予言カードは別のデッキから選んだ赤裏のカードと仮定する。

*「ご列席の皆様…これから行うことが、何か準備されたものではとの疑念を払拭するため、新品未開封のトランプを使用します。どうぞ、あなた自身に封を切っていただき、カードを十分にシャッフルしていただきます。そうすれば、私たち誰もカードの順番を推測できませんから」*

あなたはデッキを渡すと、彼が封を切るのを観察します。そして彼がシャッフルを始める直前に、手を伸ばしてカードを取り戻します…「始める前にジョーカーとスコアカードを抜き取っておきましょう」

—以下省略—



「7枚のカードを彼の手に渡しましたか？よろしい。では、カードを扇状に広げ、表が見えないようにしてください。たとえ私がごまかそうとしても…（私はごまかすことで知られていますから！）」

「カードを一瞥してください…いくつかが他より目立つでしょう。その中の1枚に目を留めて…（指を鳴らす）…クラブの7だ。そうだ、取り出して掲げてみて。皆に私の正しさを証明するために…もし妻がここにいたら『彼女にみせる』と言うところだ。だって彼女曰く、私は決して正しくないらしいからな！残りのカードに気ままに意識を向けて…今見ているのは…（指を鳴らす）…ダイヤの4でしょう？そうです。それを掲げて皆にみせてください」

最後のカードが明かされる前に、振り返る時間がある。

「この最後のカードをお見せする前に、起こったことの不可能性を振り返らせてください。（観客一人一人を指さしながら）あなたは新品のトランプを開封し…十分にシャッフルし…7枚のカードを選び…その枚数を友人の手に数え上げました。彼はカードを見て、そして我々は彼が見ていた全てのカードについて明かしてきた…ただし1枚を除いて…最後のカード…今まさに彼が目になっているその1枚を除いて。」

「52枚ある中から、実は私が事前に彼が今まさに手にしている最後のカードがこれだと知っていたと信じられますか？…もちろん信じられないでしょう！「しかしお願いします。私たちが始める前からずっとお持ちだったあの封筒を開けてください。中に何が入っていますか？」

「そうです…全く別のデッキから、私が今日の午後にそこに差し替えたのです。…ハートの3です。最後の一枚を掲げていただけますか…はい、まさに。これもまたハートの3です」



終盤に差し掛かると、封筒を開ける男に近づき、カードを受け取ります。観客にハートの3であること、裏面が赤色であることを確認させるため、カードを表、裏回しながら見せます。

次に、最後のカードを持っている男性のもとへ行き、彼からカードを受け取ると、その表、裏を観客に見せる。そうすることで、それが青裏のハートの3であることがわかります。…そして、二枚の同じカード（それぞれを伸ばした両手に一枚ずつ）を握りしめ、拍手を促すジェスチャーをしながら、ステージへ駆け戻る。

これでマッコミカル式プロフェッショナルルーティンの完成です。ビリーが特に気に入っている理由は、クルーズ船での仕事では可能な限り多くの手品が必要であり、この手品はバッグのスペースを一切取らず、全ての道具が船内で入手可能だからです。

\*\*\*\*\*



興味深いことに、シュプリーム・マジック社の初期作品の一つにエドウィンの「マインド・マスター」がありました。ガフデックを用いたものの、その現象は非常に類似していたため、そのプレゼンテーションをご覧いただきたく思います。

ちなみにエドウィンは7枚ではなく6枚のカードを使用していました。

「シャッフルしたデッキからお気ままに選んだカードを、扇状に広げてお持ちください、奥様。私はそれらのカードを見ておらず、何のカードかも知りませんが、集中してください…目に入るどのカードにも集中してください」

「ああ、そうです。絵札が見えます…赤いカードです…合っていますか？ あなたが考えているのは赤いコートカード（絵札）、ハートです。そうです、そのカードはハートのキングだと思えます。ハートキングを思い描いていますね…合っていますか？ ありがとうございます。このカードは捨ててください。もう一度カードを見て…考えてください。小さな黒いカード。あなたの手には小さな黒いカードがあります。今それを思い描いています…3か4…いえ、今見えました、2です…スペードの2。このカードを捨ててください。」

「次はハート…たくさんのハートが見えます。かなり高いカード、10だと思います。あなたのカードはハートの9か10でしょうか？ 9？ ありがとうございます。そのカードを取り除いてください」

「別の絵札、今度は黒いものです。私の心にはクラブの輪郭が見えます。クラブのジャックでしょうか？ お取りください。」

「手元のカードを見つめてください。赤…いや、黒…今、考えを変えられたのですね、奥様。スペードを思い浮かべていますね？ スペードの10…合っていますか？」

「残りは1枚です、奥様、52枚のカードの中から、あなたの思考で捨てられ、最後に残された一枚。そのカードが何であるか、誰も予見できなかった。あなた自身でさえ、誰も知る由がなかった…誰も？」

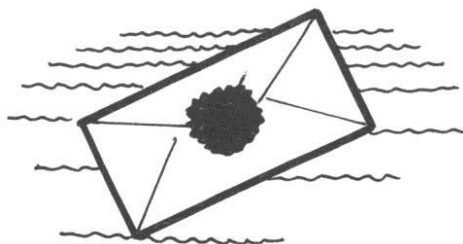
「あなたがカードに触れる前から、私は予言していました…一瞬たりともあなたの視界から消えなかった予言を。今、あなたが手にしているカードの名は何ですか、奥様？ダイヤの4ですか？」  
（予言を読み上げ、正しさをみせる）

もし不安を感じたり、全く協力的な観客に恵まれなかった場合は、こう試してみてください…

「カードに目を走らせ、集中してください、奥様。赤いコートカードが見えます。赤い絵札カードをお持ちですか？ よく考えてください、奥様。赤い絵札カードに集中されていますね…ハート…合っていますか？ ハートのキングでしょうか？ よろしい…このカードをお捨てください」

この手順はカードの名指し全体を通して継続可能。

最後にいくつか注意点：予言の封筒は、封をした折り返しを大きな赤い公印で補強すると、はるかに印象的になります。これらは文房具店で 50 枚または 100 枚入りボックスで購入できます。



ベストを着用しない場合は、カード入りの封筒を左胸の内ポケット、またはカマーバンドを着用しているならその上部に差し込んでください。マイク用のレヴァリエクリップをお持ちでない場合は、スタンドマイクを使用してください



い。自分の大きな声だけで十分だと考えるのは間違いです。現代人は拡声された音に慣れているため、たとえあなたの声がどれほど「よく通る」ものであっても、聴衆には不自然に聞こえる。また、マイクを通した増幅された音量は、聴衆に対するあなたの威厳をさらに高めることを忘れないで。

これで「キャバレーカード・デビネーション」をあなたの演技の真の目玉にするために必要な詳細は全て揃いました。上手に使い、秘密にしておいてください。

## CABARET CARD DIVINATION

by

BILLY MCCOMB & KEN de COURCY

Copyright © 2019 by Lybrary.com – <https://www.lybrary.com>

—以上—



## <特別付録>



### サイキック・フォース

- 観客がシャッフルしたカード数枚を完璧に透視！
- 即興でできる最強のメンタル・マジック

#### 現象

- まず取り出したデッキを良くシャッフルします。
- その後、デッキを4つから5つのパックに分けて、それぞれを4、5人の観客に渡します。
- 観客に渡したパックも良くシャッフルしてもらいます。シャッフルが終わったら、再び全てのパックを、観客に戻してもらいます。
- テーブルに重ねられた、1組の良くシャッフルされたデッキから8枚のカードを観客に取ってもらいます。⇒この時、演者はデッキから離れた所で、カードが見えない所に立ちます。
- 8枚のカードを手にした観客は、カードをファンに広げて、しっかりとカードのイメージを保持します。
- 演者は、遠く離れて透視するかのように、観客のしているカードを1枚ずつ当てていきます！全てのカードを言い当ててしまいます。
- ★ 演者は目隠しでもOKです。
- ★ 借りたデッキでもOKです。
- ★ デッキを取り出した後は、全て観客に渡して、演者は手に触れることなくできます。
- ★ シャッフルされた後で、カードを追加したり、パームして取り去ったりはしません。
- ★ テクニック不要です。
- 多くのマジシャンによって大事に秘蔵され、演じられてきた秘密です。

#### 仕掛け・準備

—以下省略—

## 演技

### —以下省略—

● ここで、演者はもう一度、今までのことをおさらいします。『何人かの方にカードを良く混ぜてもらいました。』『あなたは良くシャッフルしていただけましたか？』『あなたはどうか？良く混ぜましたね』『私が、何か都合の良ように混ぜるよう影響を与えていませんよね？』

『そして私は一切カードに手を触れていません。あなたが、ご自身で8枚のカードを配ってくれましたね。』と念を押しておきます。

● 『良く手持ちのカードを見てください。今からそれらのカードを透視していきます。』

『あなたが持っているカードの中に黒いカードが見えます。黒いカードの2です。それはクラブの2でしょう！合っていますか？そのカードを皆さんに見せてください』⇒こうして8枚全部当てていきます。

### エンディング・クライマックス

上記の演技が基本の方法ですが、少しの準備で最大のクライマックスを演じることができます。

● 大きな封筒に1枚のジャンボカードを入れておきます。そのカードは覚えた8枚のカードの中から適当な1枚を選んで入れておきます。

● 8枚のカードが配られた時点で、封筒があることだけ観客に告げておきます。

● カードを当てていく時に、この1枚だけ除いて、7枚まで当てていきます。

● 7枚まで当てたら、『まだ残っていますか？』とあえて聞きます。「はい、あと1枚あります」と観客が答えますので、ここで次のように言います。

● 『今日ここに来る前に、この封筒に1枚のカードを入れて来ました。この封筒は演技の最初からずっとここにありました。』

『カードは、私ではなく、皆さん方でシャッフルされました。』『ここで初めてお聞きします。その最後に残ったカードは何ですか？』⇒例えば、「スペードの7」と観客が答えます。



- 観客に封筒の中からカード（ジャンボカードのスペードの7）を取り出してもらい、まさに予言が的中していることを示して終わります。

## その他のクライマックス

- 1) 白いボードを取り出し、予言を書いておきます。そのボードの裏側には観客のサインをしてもらい、すり替えしないことを告げます。  
手順の最後、観客が最後の1枚を手をしているときに、このボードに注目してもらいます。このボードが演技の最初から、カードをシャッフルする前から予言として置かれていたことを思い起こしてもらいます。観客に立ってもらい、カードの名前を言ってもらいます。ボードを表に向けて予言が見事当たっていることを示します。
- 2) 最後のカードは、「ライジング・カード」を使って当てます。自動で動作するものも良いでしょう。
- 3) 最後のカードが、別なデッキの中で1枚だけ裏返っているという演出。デッキを予め観客に渡しおき、最後のカードのときに、そのデッキを広げてもらい、1枚だけひっくり返っているカードを見せてもらう。
- 4) 観客に最後のカードを他のパックと一緒に混ぜてもらい、カードの名前を言いながら、そのパックを宙に投げてもらう。それを、「カード刺し剣」で見事キャッチする。

## 2人での手順

助手が居れば、下記のような非常に効果的な演技が可能になります。

- 8枚のカードが配られた時、観客もカードの表を見ることなく、裏向きのまま自由に1枚選んで、そのカードをポケットにしまってもらいます。
- 助手は目隠しをしたまま、観客の手をしている7枚のカードを次々当てていき、最後には、ポケットの中にしまったカードを明かします！



## 即興で行う手順

—以下省略—

★ 「インターセプト」に次ぐ、即興メンタル・マジックの極みです！

★ 多くのマジシャンによって大事に秘蔵され、演じられてきたこの秘密を大切に守っていただきます。

**それでは、この不思議なメンタル・カード・ミステリーをお楽しみください**

原案: **PSYCHIC FORCES** by Abracadabra Magic

Copyright 2009 UMSI INCORPORATED - REPRODUCTIONS

日本語解説書 ©2009 (有)フェザータッチ MAGIC

2009年6月一本書の著作権は UMSI INCORPORATED 社が保有します。(有)フェザータッチ MAGIC は正式に日本語版の権利を UMSI INCORPORATED 社より購入して販売しております。許可なく、いかなる方法、理由にかかわらずこの解説書の無断複製、頒布を禁止します。

日本語説明書©2025 FTM: *Feather Touch Magic Inc.*

**販売: (有)フェザータッチ MAGIC**

**[www.FTMagic.JP](http://www.FTMagic.JP)**



**フェイスブック:** [www.facebook.com/ftmagic](http://www.facebook.com/ftmagic)

(新製品情報、特別セール情報等はこちらでチェック)

**Instagram:** [www.instagram.com/ftmagic0000/](http://www.instagram.com/ftmagic0000/)

**Twitter:** <https://twitter.com/FTMagic>

メール: [FT@FTMagic.JP](mailto:FT@FTMagic.JP)

